

## 高知県職員NPO短期派遣研修意見交換会

日 時：平成 22 年 1 月 29 日（金）13：30～15：00

場 所：高知市市民活動サポートセンター

参加者：研修職員 6 名、事務局 2 名

概 要：

### 1 開会・オリエンテーション

研修概要説明

事務局から研修の目的、仕組み、昨年度からの変更点等について説明

### 2 意見交換

#### (1) 研修の申し込みについて

- ・申し込んだきっかけは、「上司や先輩に勧められた」「NPOと関わってみたいと思った」「活動内容に興味があった」等
- ・研修に参加する前にNPOに関わったことがある人は1名のみ。
- ・申し込むときには団体のHPを参考にしたという意見が多数。

#### (2) 研修を振り返って

- ・研修先は行政からの委託も多く受けているところだったので、行政との違いはあまり感じなかった。
- ・NPOは「1人1人」をととても大事にしている。行政がそれをやってしまうと公平性が失われてしまうので難しい。今回の研修で、NPOがどれだけ情熱を持って活動をしているかがわかった。
- ・実行委員に大学生等フリーに動ける人が多いこともあってか、会の終了時間を過ぎても終わらないことが多く、仕事や家庭を持っているとなかなか参加しづらいと感じた。
- ・研修先の団体と行政が助成金について話し合いをする場にも連れて行ってもらい、久しぶりに外から行政の立場（＝自分の姿）を見ることができて良かった。
- ・研修のスケジュールは渡されたが、研修内容をもっと詰めてほしかった。研修日がイベントと重なった時は忙しく、そうでない時はフリーの時間が多すぎて何をしていたかわからなかった。事前の説明や打ち合わせ時間をもっと取るべき。
- ・研修先から、行政についての苦情を言われた（担当が変わると対応も変わる等）。後継者問題で悩んでいるNPOが多いが、行政も同じ。引き継ぐ力が大事。

#### (3) 研修のあり方

- ・研修に参加したら勧誘されないか申し込む時に不安だった。契約書等に「参加してもNPOに加入する必要はない」という一文があるといいのでは？
- ・半日単位で参加できる仕組みは参加しやすく良い。

- ・研修内容にはイベントが多い。イベントだけに参加しても、「お客さん」、「単なる助っ人」で終わってしまうので、イベント準備の打ち合わせ等も「研修」として扱ってほしい。（※現在は、3日を越える分については研修の扱いはしていない。）
- ・研修の案内について、所属メールへの案内だけでは弱い。上司に言われるまで知らなかった。
- ・市内の友人に「参加する」と言ったら「自分も参加したかったけど、うちの課は言いだせる雰囲気じゃないからあきらめた」と言っていた。  
⇒人事課の研修に組み込んでもらえると、参加しやすいしもっと多くの人の目に付くのでは？
- ・人事課と安芸福祉保健所では、研修終了後、課内で報告会をした。報告をすることで、こういう研修をしているというPRにもなるし、参加した職員以外のNPOへの理解も進むのではないか。（※ただし、「課内報告を義務付けるとハードルが上がって申し込みにくくなるかも」という声も上がった。）

#### （４）行政職員のNPO理解を進めるために

- ・NPOと行政の協働は、お互いの話を聞いて、お互いを尊重することが大事。
- ・NPO活動の苦勞等は、体験してみないとわからない。この研修は、NPOを理解する仕組みとして今後も続けてもらいたい。
- ・NPOはとにかくフットワークが軽い。行政は信頼性が高い。NPOと行政がお互いの長所を活かし、弱いところを補う関係で地域課題解決に取り組むことが今後大切。